

第4次古賀市総合振興計画後期基本計画(原案)パブリック・コメント実施結果

平成29年2月9日 経営企画課

第4次古賀市総合振興計画後期基本計画(原案)に対してパブリック・コメント手続を実施した結果について、古賀市パブリック・コメント手続実施要綱(平成20年3月告示第20号)第11条第1項の規定に基づき、次のとおり公表します。

(1)政策等の題名	第4次古賀市総合振興計画後期基本計画(原案)
(2)政策等の案の公表日	平成28年11月14日(月)
(3)パブリック・コメント手続の実施期間	平成28年11月14日(月)から平成28年12月16日(金)(33日間)
(4)意見等提出者数	1名
(5)提出意見等件数	7件
(6)提出意見等を考慮した結果及びその理由	下記のとおり

■ パブリックコメントへの提出意見等を考慮した結果及びその理由

番号	該当項目	パブリック・コメント（ご意見）の内容	計画への反映	ご意見への回答
1	政策1-2 商工業の振興	「市外からの集客を図ることが求められています。」とありますが、福岡市をはじめ近隣の市町村に大規模商業施設がある中で、本当に市外からの集客を図ることが必要でしょうか。市外からの集客を図るとしたらどのような形でしょうか。古賀駅は古賀市内のほとんどの地域と路線バスで繋がっているのだから、市外からの集客よりも、市内からの集客を図り、市内消費を高めるにはいかがでしょうか。食料品や日用雑貨などが多種多様に集まれば、古賀市民は古賀駅周辺で日常の買い物をするようになるのではないかと思います。	ご要望として承ります。	市外からの集客のみならず、市内での消費促進を行ってまいります。
2	政策2-1 環境の保全	「代表的な指標」が「河川のBODの『平均(年間)』」とありますが、環境基準ではBODは年間の75%値で評価すると思うのですが、環境基準の評価と異なり、年間の平均で評価するのはなぜですか。	政策2-1の注釈を次のとおり修正します。 ※1 水の汚染を表す指標の一つ。好気性微生物が一定時間中に水中の有機物(汚物)を酸化・分解する際に消費する溶存酸素の量。なお、指標は市内河川の各測定点における75%値の平均を設定。	指標名につきましては市内河川の各測定点における75%値を平均し、指標を設定しています。
3	政策3-1 学校教育の充実	「主な施策 1.学力・体力の向上」の中に「表現力」とありますが、「表現力・応用力」としてほしいです。基礎・基本の学力を言葉で表現できる力も大事ですが、創意工夫を加えて応用していく力も必要だと考えます。	ご要望として承ります。	表現力とは、思考・判断した結果を相手にわかるように表現したり、考えを練り合っ てよりよい考えに高めたりする力を意味 しています。したがって、既習を活用・応用 する力も含まれておりますので、「表現 力」としております。

番号	該当項目	パブリック・コメント（ご意見）の内容	計画への反映	ご意見への回答
4	政策3-1 学校教育の充実	代表的な指標として「親子料理教室参加者数」が挙げられていますが、これはどのような施策の指標でしょうか。	ご質問にお答えします。	主な施策の【5. 食育の推進】の指標となります。なお、全指標の再確認段階で整理します。
5	政策3-2 社会教育の振興	代表的な指標の「リーパスプラザこが交流館の貸室利用者数(年間)」は現況が「0人(H27年度)」とありますが、H27年度には交流館は無かったのだから、「H28年度 供用開始」などの表現の方が適切ではありませんか。	政策3-2 社会教育の振興に次のとおり修正と注釈を追加します。 ■代表的な指標 現況「108,725人(H27年度)※3」 ※3平成27年度旧研修棟の貸室利用者数	平成27年度旧研修棟の貸室利用者数を現況の数値とします。
6	政策4-2 交通環境の形成	現在、九州道を走る高速バス(福岡～北九州線など)が、既存のバス停(高速青柳)にもっと停まるようにしてほしいです。また、スマートインターチェンジ設置と並行して古賀サービスエリアにもバス停を作ることができれば、山間部も便利になると思います。ご検討のほどよろしく申し上げます。	ご要望として承ります。	いただいたご意見につきましては、今後の施策を検討していく過程で、参考とさせていただきます。
7	政策4-3 水道水の安定供給	私の地区はまだ水道が通っておらず井戸水を飲んでいますが、もう水道水の給水地域は広げないのでしょうか。できれば安全で良質な水道水の方が飲みたいのですが。	ご質問にお答えします。	給水区域拡張のご要望については、安全性や経済性等に配慮しながら、検討してまいりたいと考えます。